

## 技術英語研修 6 WEB セミナー 開催報告

【開催日時】 令和6年2月16日（金） 10:00～11:30

【場所】 WEB (Zoom)

【講師】 レイト エマニュエル（名古屋大学工学研究科 講師）

【参加対象者】 大学の技術職員、技術支援員（パート、派遣等含む）

【参加費】 無料

【内容】 10:00～10:05 講師紹介

10:05～11:30 講演・質疑応答

「最新のツールを使った技術英語の効果的な自立学習法の伝授」

【主催】 大学連携研究設備ネットワーク

【共催】 東海国立大学機構統括技術センター

---

【参加申込数】 73名

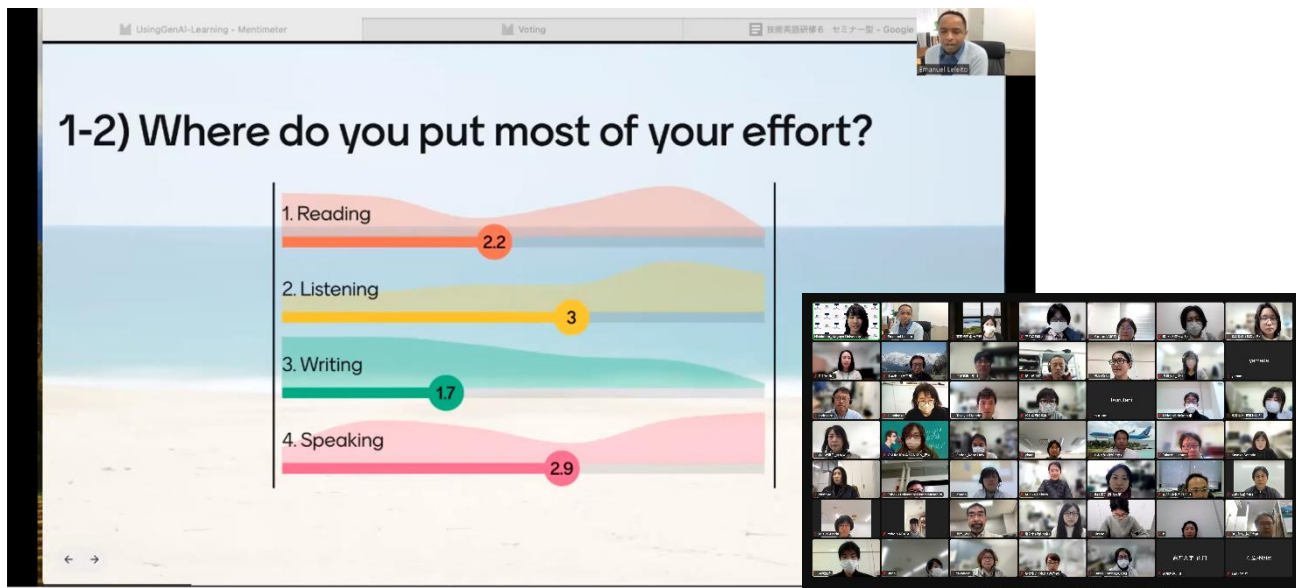
【報告】 レイト講師による「自立学習法」に関するセミナーは、だれかに英文を添削してもらうのではなく、自分だけで英語学習を進めることができるように様々なツールを効果的に活用するための方法を紹介する内容であった。講師の意見に加えて、参加者の意見がリアルタイムで確認できる Mentimeter というプラットフォームを使用しながらセミナーが進められ、参加者はスマホやタブレットから英語の自立学習についての質問に対する回答を記入した。

はじめに簡単な質問で Mentimeter の回答方法を確認し、次に各参加者に英語での自己紹介文を記入してもらったり、自己紹介の文章の流れを考えさせたりすることで、自分なりの自己紹介を考えるアクティビティがあり、講師からは、英語を話すことに慣れるには毎日鏡の前で自分に向かって自己紹介をすることが推奨された。他にも、どんなツールを使って英語を勉強しているかの質問があり、Google 翻訳が多用されているなど参加者の英語ツールの使用傾向が目に見えてわかり非常に好評であった。講師からは、Google 翻訳、grammarly、TED、ChatGPT、Gemini について、活用方法の説明があった。また、生成 AI ツールは非常に面白みがあり便利であるが、使用する際には倫理的配慮を忘れないようにとコメントをいただいた（下記 URL 参照）。事前に収集していた質問にはセミナー途中で答えるとともに、Mentimeter でも随時質問を受け付けており、参加者との双方向のやり取りがあったおかげで研修後アンケートでも良好な反応が得られた。

参照：生成 AI ツール使用時の倫理的配慮

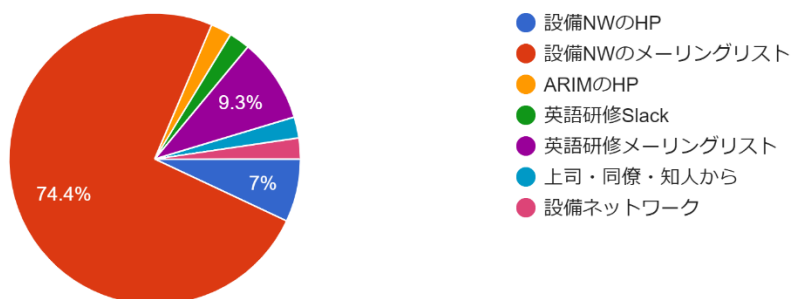
[生成 AI ツールをアカデミアで使用する際の、倫理的に「すべきこと」と「してはいけないこと」 - Editage Blog](#)

## 【セミナーの様子】



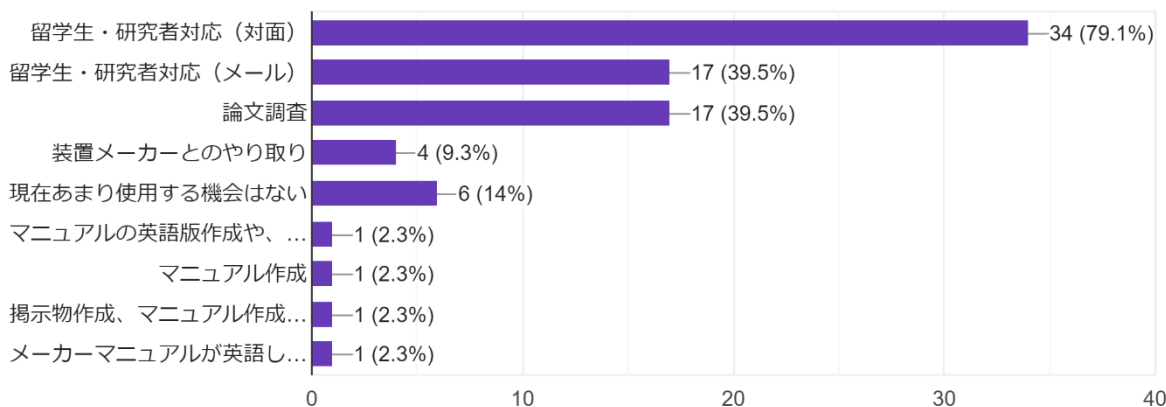
## 【アンケート結果】回答数 43 名

### セミナーを知ったきっかけ



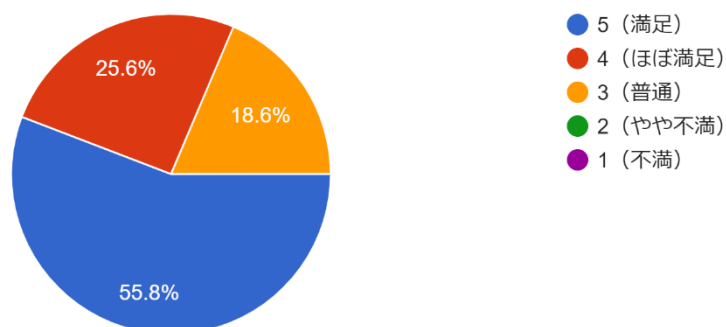
セミナーの周知は、設備ネットワークのメーリングリストが非常に効果的であることが分かった。

### 業務で英語を使用する場面



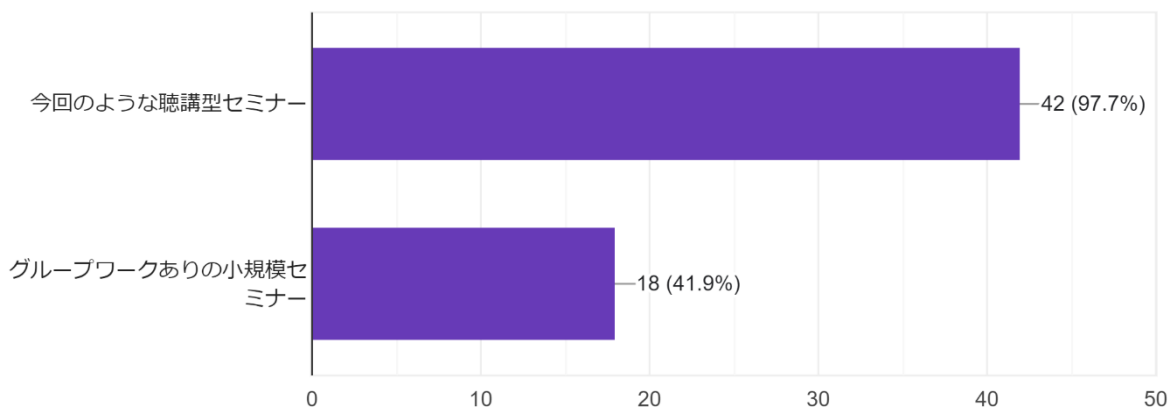
対面での留学生・研究者対応が最も多く、現場でのスピーキング能力が求められていることがわかった。現場対応にすぐに反映できるような研修プログラムを今後も考えていきたい。

## セミナー満足度



おおむね評価が高いことが確認できた。mentimeter が楽しかったという回答も多く寄せられた他、レレイト講師へのメッセージも多くいただき、セミナーの雰囲気良好なことがうかがえた。

## 次回に希望するセミナー



聴講型セミナーの方が参加しやすいと考える参加者が多かったため、今回のような大人数を対象とした聴講型セミナーを定期的で開催していきたい。ただ、スピーキング能力向上にはやはり実際にたくさん話すという研修も必要なため、スピーキング研修やライティング研修も継続して企画していく予定である。次回以降のセミナー内容についての要望も多く寄せられたので、今後の企画にぜひ反映していきたいと思う。